



## 01 女子美術大学 大学院 安齋 茉由 Mayu Anzai

自身が思う自由を描いている。今はみどりの海のような田んぼとドローイングの線、人の動きにそれをみている。

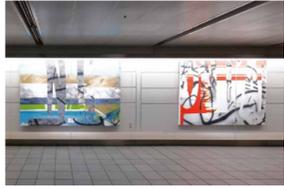


撮影:末正 真礼生

みどりの海 (free park28) green sea (free park28)  
free park23  
みどりの海 (free park25) green sea (free park25)  
みどりの海 (free park27) green sea (free park27)

## 05 京都芸術大学 大学院 高尾 岳央 Takehiro Takao

イメージがどのように機能するかを絵画で模索する。化石から生れる変更可能なイメージ、恐竜のような変化するイメージを目指す。



撮影:末正 真礼生

船 SHIP 恐竜 Dinosaur

## 09 女子美術大学 大学院 兪 暁凱 Xiaokai Yu

地元の方言、マンガリンと中国伝統的なシーツにより、「LGBTQ+に関わること」について、家族からの考え、葛藤と当事者の本音、経験を表現した。



撮影:末正 真礼生

罪をすく Forgive our sins ドキドキ My heartbeat

## 13 東北芸術工科大学 森田 翔稀 Shoki Morita

そこに質量を伴って存在してなくても、意思が存在してなくても、顔が張り付くとちぐはぐな気配が漂ってくる。



撮影:末正 真礼生

夢現幻肢人 dreaming phantom limb person

## 17 多摩美術大学 大学院 磯崎 海友 Miyu Isozaki

依存を描くことを通して、人の生き様を垣間見る。生きることを見つめる。私にとってはその行為自体がとてもポジティブなことだ。



撮影:Takafumi Kato

糖質依存症 Sugar Addiction  
ラーメン依存症 Ramenaholic  
ポテト依存症 Potatoholic  
友達依存症 Friends Addiction

## 02 東京藝術大学 当山 希未 Nozomi Toyama

イメージして絵を描くのではなく、それよりも先に手を動かして描かされたものが絵のイメージになった。



撮影:末正 真礼生

自画像 Self-portrait

## 06 東京藝術大学 大学院 SHIMIZU KEN

人が写真を目にするとき、多くの場合、被写体について話されることに気がつく。「～の写真」はみえないものとして扱われる。私は「～の写真」の部分に関心がある。



撮影:末正 真礼生

Rephotograph

## 10 女子美術大学 大学院 井手元 咲良 Sakura Idemoto

私有地と外界との間に「理想の世界観」を創り出す「庭園」に共感を覚え、庭園における自然観や思想などを調べながら自身の思う「理想郷」を描いている。



撮影:末正 真礼生

睡庭 Suitei

## 14 東京藝術大学 原 ナビィ Nabbie Hara

ぶっちぎりの絵。楽しんで描いた。



撮影:末正 真礼生

ぶっちぎり Haymaker

## 18 京都市立芸術大学 大学院 土屋 咲瑛 Sae Tsuchiya

自分と目の合わない、かつてそこにいた人によって発された気配の波は、私に到達するも私の身体を通り抜け、私の存在を薄くする。



撮影:末正 真礼生

スペース フル オブ ルールズ (スルー・ユー) space full of rules (through・you)

## 03 京都市立芸術大学 大学院 山口 遼太郎 Ryotaro Yamaguchi

日常に溢れる小さなひかりをモチーフに、陶土で小さく繊細な造形を行った。静かな場所にキラッと何かが光る場面や風景を表現した。



撮影:末正 真礼生

そら ひかり sora hikari

## 07 東京藝術大学 大学院 奥野 智萌 Chiho Okuno

「モチーフのデフォルメ」と「通訳」をキーワードに、自身を含めた生物の身体の異形性への興味を軸に創作活動を行う。



撮影:末正 真礼生

We are granules.

## 11 東京藝術大学 大学院 李 晟 睿智 Yeji Sei Lee

戦後の社会的逆境の中で多様なアイデンティティを抱えながら強く生き抜いた私の母と祖母の世代の韓国の母像を主題に描いている。



撮影:末正 真礼生

“Call me by my name”

## 15 京都芸術大学 大学院 趙 彤陽 Tongyang Zhao

異なる言語を使う人と付き合った時、趙はAIツールで2人の交流と関係に介入してみた。この短くて悲しい恋の経験に基づいて、趙は今の時代の愛の神様の様子を創造してきた。



撮影:末正 真礼生

愛、シミュレーション、背骨、電子辞書 love, simulation, spine, digital dictionary

## 19 京都市立芸術大学 大学院 高田 マル Mal Takada

絵を描き、絵を見せ、絵を見る。なぜ人間は、なぜ私は、この欲求を手放せずにいるのか。衝動を原初に向かって解きほぐしていく。



撮影:末正 真礼生

こわれながらうまれる(間違った言葉) Be born while broken (a word full of mistakes)

## 04 東京造形大学 和田 咲良 Sakura Wada

人間のコミュニティに生じる問題を作品と観賞者の関係性を利用して再考し、空間に配置された手掛かりから相互交渉を試みる。



撮影:末正 真礼生

Main/Dub

## 08 女子美術大学 大学院 鈴木 晴絵 Harue Suzuki

私が意味付けし縛った事物。それを刻み、複製し、重ね合わせる。いつの間にか私から解放され森になる。あなたのための森になる。



撮影:末正 真礼生

あなたのための森 The master of woods  
2つのチェック two checkered  
積み木のチェック checkered of blocks  
透明人間XXL Invisible man XXL

## 12 武蔵野美術大学 大学院 ソウ カヨウ soukayou

このシリーズ作品は修士課程の2年間で激しい感情が引き起こさせた物事を物語的に表現し、自分の精神世界をまとめた作品である。



撮影:末正 真礼生

エデンの夜 The Night Of Eden  
エデンの昼 The Day Of Eden  
宇宙樹 space tree  
登場人物 The Character

## 16 女子美術大学 朝井 彩華 Iroha Asai

私たちは崩壊と誕生に飲み込まれて生きている。「変化」と向き合い「生命」とは何か、思考する。



撮影:末正 真礼生

Doomsday records

## 20 東京藝術大学 大学院 本岡 景太 Keita Motooka

ある時の紙の「ひと貼り」を貼り付ける瞬間、眼から視覚の単位を放つかのような感覚がやってきた。



撮影:末正 真礼生

Detach and Adhere